申入れ書

重イオンビーム照射米との交配由来の「あきたこまちR」を

給食の食材に使わないでください・

○○○首長　○○○○　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○○○のこどもたちの食と未来を守る会？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　他　市民団体名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　世話人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先

日頃より子どもたちの命と健康に留意し、健やかな成長の為にご尽力下さり、心より感謝申し上げます。

私たちは、日本の未来を担う子どもたちを健康にそしてもって生まれた才能を開花させるべく、日々努力しております。こどもの腸を元気にする伝統和食や自然の食材を使った給食にする活動もその一環としてやっております。

さて、その給食に使われているお米に今年から問題が出てきたので、お知らせします。 2023年9月、秋田県知事は2025年以降今の「あきたこまち」の種子を全量「あきたこまちR」に転換すると発表しました。「あきたこまちR」というお米は、国はいままでの「あきたこまち」と変わりないと言っていますが、重イオンビームという放射線で、カドミウムを吸収する遺伝子をなくしたもので、同時にマンガン吸収率も低下しており、全く同じお米ではなく、７つの問題点が指摘されています(別紙参照)。

また、重イオンビーム照射により遺伝子改変された「あきたこまちR」については、その健康や環境への影響がわからないことが多くあります。そのようなお米を、学校給食で提供することに不安を感じています。

また、安全性の問題だけでなく、カドミウムで汚染された農地はわずかなのに、全面転換により、今までの「あきたこまち」の種子がなくなり、「あきたこまちR」という自家採取できない特許米だけになってしてしまうことも、日本の稲作農業にとって大変な損失だと思います。

○○○○自治体の給食でも「あきたこまち」と「あきたこまちR」との違いを把握頂き、「あきたこまちR 」の給食への使用はお控え頂きたく、宜しくお願い申し上げます。